

平成 17 年度当初予算 重点プログラム別概要

くらし 14：海・山・川身近な自然の保全プログラム(生活排水処理緊急対策)

(主担当部局：環境森林部)

- (1) 合併処理浄化槽整備重点促進事業
- (2) 農業集落排水整備重点促進事業

< プログラムの事業費 >

(単位：千円)

| | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | 3 か年計 |
|------|-----------|-----------|----------|--------------|
| 当初計画 | 1,128,877 | 1,221,000 | 800,000 | 3,150,000 程度 |
| 見直し後 | 1,128,877 | 939,882 | 731,000 | 2,799,759 |

注：見直し後の 16 年度は 12 月補正後予算額、17 年度は当初予算額、18 年度は同見込額

< 事業目標の見込み > 1 月末時点で把握できる見込み値を示しています。

| 目標項目 | | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 |
|------------------------------|-----|----------|----------|----------|
| (1) 合併処理浄化槽による生活排水処理施設整備率 | 目標値 | 29.0% | 30.5% | 32.1% |
| | 実績値 | 29.0% | | |
| (2) 農業集落排水処理施設による生活排水処理施設整備率 | 目標値 | 3.7% | 4.0% | 4.2% |
| | 実績値 | 3.7% | | |

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・水質汚濁の主な要因は、生活排水であり、県民、市町村、県が一体となった生活排水対策の推進が課題となっています。
- ・合併処理浄化槽の整備については、現在、平成 16 年度の整備予定基数を満たす要望があり、概ね順調に進捗しています。
- ・農業集落排水処理施設については、重点プログラム対象の 6 地区で目標完了年度に向けて着実な事業進捗を図っています。平成 16 年度末に 2 地区が完了の予定です。
- ・合併処理浄化槽については、設置後の点検等を適正に行うため、市町村が浄化槽を設置し、維持管理も行う事業への取組を拡大する必要があります。

< 平成 17 年度の取組方向 >

- ・水質改善が必要な地域で、生活排水処理施設の整備率が低く、下水道処理施設での整備が見込まれない地域において、引き続き、市町村等が行う合併処理浄化槽や農業集落排水処理施設の整備に対して重点的に支援し、生活排水処理施設の集中的な整備を促進します。

< 主な事業 >

合併処理浄化槽整備重点促進事業【17年度当初予算額 481,652千円】

水質改善が必要な地域で、生活排水処理施設の整備率が低く、下水道処理施設での整備が見込まれない地域において、市町村が行う合併処理浄化槽の整備に対して重点的に支援し、生活排水処理施設の集中的な整備を促進します。

団体営農業集落排水整備促進事業【17年度当初予算額 366,904千円】

(事業(2)の一部)

生活排水処理施設の整備率が低く、かつ水質改善が特に必要な地域の農村部において、人家が比較的密集した地域を対象に、農業集落排水処理施設整備を行う市町村に対して補助を行います。

団体営農業集落排水整備支援事業【17年度当初予算額 91,326千円】

(事業(2)の一部)

団体営農業集落排水整備促進事業を支援するため、市町村の起債償還に対して県費助成します。